

2016年度ブロック国体講習会 開催要綱

ブロック別第3期（前期）・第4期（後期）国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会

2016年1月

国体準備委員会

ブロック国体講習会実行委員会

2019年茨城国体から国体公開競技として実施される「武術太極拳」各種目の普及と技術の向上を図るため，日本連盟は2015年度よりブロック別の「国体コーチ・選手養成講習会，審判員研修会」ならびに「国体審判員認定試験」を実施しております。2016年度も引き続きブロック別の「国体コーチ・選手養成講習会，審判員研修会」を計画しています。また，2016年8月には「国体長拳ジュニアコーチ」「国体長拳コーチ」「国体太極拳コーチ」の3種の「コーチ認定試験」も実施します。

2015年1月17日に開催された「日本連盟第50回総会」で，国体公開競技に関して基本的な計画案が確認されました。その後，さらに具体的な実施時期，実施方法について具体的に検討がなされ，現状で下記のように計画されています。

これに基づいて，2016年度前期（4月～9月末日）には，ブロック別「第3期国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」を7ブロックで開催します。2016年度後期（10月～2017年1月末日）には，ブロック別「第4期国体コーチ・選手養成講習会・国体審判員研修会・推手套路講習会」を7ブロックで実施します。

1. 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会 実施計画：

1) 2015年4月～9月末日

7ブロック別「第1期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」；

全国7ブロックにおいて，ブロック国体講習会実行委員会による講習会，研修会を；

第1日目（土）に，「国体コーチ・選手養成講習会」を実施する。

第2日目（日）に，「国体審判員研修会」（推手套路審判法を含む）を実施する。

2) 2015年10月～12月末日

7ブロック別「第2期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」；

全国7ブロックにおいて，ブロック国体講習会実行委員会による講習会，研修会を；

第1日目（土）に，「国体コーチ・選手養成講習会」を実施する。

第2日目（日）に，「国体審判員研修会」（推手套路審判法を含む）を実施する。

3) 2016年2月～3月

2015年度国体審判員研修会・認定試験（第1回目）；

① 2月7日（日）東京「第1期全国国体審判員研修会・認定試験」

（2月6日（土）東京「第16期全国審判員研修会」）

② 2月14日（日）佐賀県鳥栖市「第1期全国国体審判員研修会・認定試験」

（2月13日（土）鳥栖市「第16期全国審判員研修会」）

③ 3月13日（日）大阪「第1期全国国体審判員研修会・認定試験」

（3月12日（土）大阪「第16期全国審判員研修会」）

4) 2016年4月～9月末日

7ブロック別「第3期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」；

全国7ブロックにおいて，ブロック国体講習会実行委員会による講習会，研修会を；

第1日目（土）に，「国体コーチ・選手養成講習会」を実施する。

第2日目（日）に，「国体審判員研修会」（推手套路審判法を含む）を実施する。

5) 2016年8月

2016年度国体コーチ・認定試験（第1回目）

- ① 8月7日（日）大阪開催「2016年度 第1期国体コーチ・認定試験」
- ② 8月14日（日）東京開催「2016年度 第1期国体コーチ・認定試験」

6) 2016年10月～2017年1月末日

7ブロック別「第4期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」；
全国7ブロックにおいて，ブロック国体講習会実行委員会による講習会，研修会を；
第1日目（土）に，「国体コーチ・選手養成講習会」を実施する。
第2日目（日）に，「国体審判員研修会」（推手套路審判法を含む）を実施する。

7) 2017年2月～3月

2016年度国体コーチ・認定試験（第2回目）

- ① 2月25日（土）大阪開催「2016年度第2期国体コーチ・認定試験」
- ② 3月11日（土）東京開催「2016年度第2期国体コーチ・認定試験」

8) 2017年2月～3月

2016年度国体審判員研修会・認定試験（第2回目）

- ① 2月26日（日）大阪開催「2016年度 第2期全国国体審判員研修会・認定試験」
- ② 3月12日（日）東京開催「2016年度 第2期全国国体審判員研修会・認定試験」
- ③ 2月19日（日）佐賀開催「2016年度 第2期全国国体審判員研修会・認定試験」

2. 都道府県別「国体コーチ・国体審判員による国体選手選抜審査会」：

各都道府県において，コーチ・審判員の態勢が整ったところから始める。

- 1) 2017年4月～2018年3月 に，都道府県別選抜審査会（予備選考会）を実施する。
- 2) 2018年4月～2019年3月 に，都道府県別選抜審査会を実施する。

上記の計画に基づいて，2016年度ブロック別「第3期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」および「第4期 国体コーチ・選手養成講習会，国体審判員研修会」の実施について，下記の通りご案内いたします。

講習会・研修会に参加するためには，下記に指定されているブロックの実施態様に従って参加申込みをされますよう，ご案内いたします。

【国体コーチ講習会について】

2014年度後期には，東日本（東京），西日本（神戸市）で「国体コーチ講習会」「国体選手講習会」が開催されました。2015年度は「前期」「後期」に，全国7ブロック（東北・北海道）（北関東）（南関東）（東海・北陸）（近畿）（中国・四国）（九州・沖縄）において「国体コーチ講習会」を行いました。日本連盟主催の「国体コーチ講習会」と，このブロック講習会を合わせて2度以上参加した人は，2016年8月に大阪，東京の2会場で開催の「国体コーチ認定試験（第1回目）」を受験することができます。

また，2016年度も「前期」「後期」の2回に分けて，各ブロックで「国体コーチ講習会」を実施します。2014年度，2015年度の講習会と合わせて2回以上受講した人は，2016年度に実施する「国体コーチ認定試験（第1回目または第2回目）」の受験資格を得られます。

各ブロック武術太極拳関係者の方は是非奮ってご参加下さい。

【国体選手養成講習会について】

下記に記載している種目について、上記の「国体コーチ講習会」と同じ日程、同じ会場で、国体選手のための技術講習を行います。講習会講師は国体コーチ講習会と国体選手養成講習会とは別の講師が担当して実施します。

国体公開競技では年齢規定は、少年の部=15歳~17歳、成年の部=18歳~29歳、シニアの部=30歳~49歳となっていますが、選手養成講習会では、各種目での年齢の幅を持たせて参加を募集しています。

【推手套路講習会について】

日本連盟では、国体公開競技用「太極拳推手套路」を含む教材DVD「国体公開競技『武術太極拳』」を頒布中です。現在、全日本選手権大会で実施されている「太極拳推手規定套路」（4分以上6分以内）を、国体公開競技用（4分以内）に改編したものです（国体公開競技では、シニアの部30歳~49歳、男女各1名1組で実施）。

2015年度前期（4月~9月）の第1期ブロック別国体コーチ・選手養成講習会から、この推手套路の講習会を実施しました。2016年2~3月および2017年2~3月に実施する「国体審判員研修会・認定試験」では、国体太極拳審判員は、この太極拳推手套路も含んだ研修と認定試験を実施します。

【国体審判員研修会について】

これは2016年2月~3月に実施される「第1期全国国体審判員研修会・認定試験」に引き続き、2017年2~3月に大阪、佐賀、東京で実施予定の「第2期全国国体審判員研修会・認定試験」に向けての研修会です。2017年度からの各大会における国体種目競技の審判員として活躍していただくためのものです。こちらも、多くの参加者を期待します。

記

2016年度実施講習会：

①「2016年度第3期・第4期ブロック国体コーチ講習会」

| | |
|------|---|
| 会 場 | 各ブロックで設定 |
| 日 時 | 第3期は2016年4月から9月末日までの期間の「土曜日」を、第4期は2016年10月から2017年1月末までの期間の「土曜日」を各ブロックで設定（原則として、下記の時間割通り） |
| 講習内容 | 種目ごとに下記の通り ①国体太極拳コーチ=ジュニア太極拳2、26式太極拳および推手套路のうち、希望する種目を選んで、受講できる（希望すれば3種目全部を受講できる） ②国体長拳ジュニアコーチ= 初級長拳 ③国体長拳コーチ = 国際第一套路長拳（長拳B套路） ※①太極拳コーチは、下記の時間割に沿って、ジュニア太極拳2、26式太極拳、太極拳推手套路のうち希望するものだけを受講するか、すべてを受講するか選ぶことができます（受講料は同じ）。 ※長拳コースも、下記の時間割に沿って、②長拳ジュニアコーチ、③長拳コーチ受講者は、初級長拳・国際第一套路長拳（長拳B套路）のどちらも受講できます。希望により一種目だけの受講も可能（受講料は同じ）。 |
| 参加資格 | 15歳から60歳までの人で、下記の条件を満たす者 ①国体太極拳コーチ = 太極拳普及指導員または太極拳1級以上 ②国体長拳ジュニアコーチ=長拳普及指導員以上、長拳3級以上、または団体推薦を受けた人 ③国体長拳コーチ = 同上 |
| 講 師 | 種目ごとの講師は追って日本連盟が指名する。 |

| | | |
|-------|---|---------------------------|
| 時 間 割 | 種目ごとに下記の通り | |
| | <u>長拳講習</u> | <u>太極拳講習</u> |
| | 9:00 受講者受付 | 9:00 受講者受付 |
| | 9:45 開講式 | 9:45 開講式 |
| | 10:00 講習開始(準備・基本功) | 10:00 講習開始(準備・基本功) |
| | 10:30 套路講習(初級長拳) | 10:30 套路講習(ジュニア太極拳2) |
| | 12:00 休憩・昼食 | 12:00 休憩・昼食 |
| | 13:30 套路講習(国際第一套路) | 13:30 套路講習(26式太極拳) |
| | 16:30 閉講式 | 15:00 推手套路講習(国体公開競技用推手套路) |
| | | 16:30 閉講式 |
| | ※当日の状況によりスケジュールが変更となる場合があります。 | |
| 受 講 料 | 一律 <u>1人5,000円</u> ※当日不参加でも返金致しかねますので予めご了承下さい。 | |
| 用意する物 | 受講種目のテキスト(太極拳は不要)、運動に適した服装・靴、筆記用具(蛍光マーカー、赤のボールペン等) | |
| | ※当日には日本連盟刊行の「初級長拳」及び「長拳国際規定第一套(B套路)」テキストを併せて販売しますので、お持ちでない方はご購入下さい(「初級長拳」=1冊860円、「長拳国際規定第一套路(長拳B套路)」=1冊1,080円)。 | |
| 申込方法 | 所定の申込書と送金内訳表に必要事項を記入の上、 <u>各団体で取りまとめて下記のブロック国体準備委員会または担当県連盟までFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。</u> | |
| | <u>また、参加費用をまとめて、下記口座にお振り込み下さい。</u> | |
| | 申込み締切り <u>2016年〇月〇日(〇曜日)必着</u> | |
| | 申込先 <u>実施ブロックで設定</u> | |
| | 受講料振込先 <u>実施ブロックで設定</u> | |
| | ※傷害保険を手配する関係上、上記締め切り期限までにお申し込みのないまま参加することは出来ませんのでご注意下さい。 | |

②「2016年度第3期・第4期ブロック国体選手養成講習会」

| | | |
|---------|---|--|
| 会 場・日 時 | 上記の「ブロック国体コーチ講習会」と同じ会場、同じ日時に行なう。 | |
| 講習内容 | 種目ごとに下記の通り | |
| | ①太極拳 少年の部・成年の部・シニアの部=ジュニア太極拳2、26式太極拳および推手套路のいずれでも受講できます。 | |
| | ②長拳 少年の部=初級長拳 | |
| | ③長拳 成年の部=国際第一套路長拳(長拳B套路) | |
| | ※②長拳少年の部、③長拳成年の部の受講者は、初級長拳・国際第一套路長拳(長拳B套路)のどちらも受講できます。希望により一種目だけの講習も可能(受講料は同じ)。 | |
| 参加資格 | 種目ごとに下記の年齢制限を満たす者(年齢は一応の目安としていますが、多少の上下は可) | |
| | ①太極拳 少年の部= 満8歳から15歳まで | |
| | ②太極拳 成年の部= 満11歳から29歳まで | |
| | ③太極拳 シニアの部= 満22歳から49歳まで | |
| | ④長拳 少年の部= 満8歳から15歳まで | |
| | ⑤長拳 成年の部= 満11歳から29歳まで | |
| 講 師 | 種目ごとの講師は追って日本連盟が指名する。 | |
| 時 間 割 | 上記「ブロック国体コーチ講習会」と同じ | |
| 受 講 料 | 一律 <u>1人2,000円</u> | |
| | ※当日不参加でも返金致しかねますので予めご了承下さい。 | |
| 用意する物 | 運動に適した服装・靴、筆記用具(蛍光マーカー、赤のボールペン等) | |

※当日には日本連盟刊行の「初級長拳」及び「長拳国際規定第一套（長拳B套路）」テキストを併せて販売しますので、お持ちでない方はご購入下さい（「初級長拳」＝860円、「長拳国際規定第一套路（長拳B套路）」＝1冊1,080円）。

申込方法 所定の申込書と送金内訳表に必要事項を記入の上、各団体で取りまとめて下記のブロック国体準備委員会または担当県連盟までFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

また、参加費用をまとめて、下記口座にお振り込み下さい。

申込み締切り 2016年〇月〇日（〇曜日）必着

申込先 実施ブロックで設定

受講料振込先 実施ブロックで設定

※傷害保険を手配するため、締め切り期限までにお申し込みのない方は参加することは出来ません。

③「2016年度第3期・第4期ブロック国体審判員研修会」

会場・日時 上記の「ブロック国体コーチ講習会」の翌日の日曜日に実施する。

審判用ビデオ研修ができる会場（太極拳および長拳の2会場）で行なう。

講習内容 種目ごとに下記の通り、審判法を学習する

①太極拳 少年の部・成年の部・シニアの部＝ジュニア太極拳2，26式太極拳および推手套路の審判法

②長拳 少年の部・成年の部＝初級長拳及び国際第一套路長拳（長拳B套路）の審判法

本研修会参加資格

- ① 国体太極拳審判員＝太極拳審判員2級以上、または、太極拳について一定の知識があり団体推薦を受けた人
- ② 国体長拳審判員＝拳術審判2級以上、または、長拳について一定の知識があり団体推薦を受けた人

◎参考：「第2期国体審判員認定試験」について

下記①②のどちらか1項でも該当すれば受験資格を得られる。

①日本連盟公認太極拳審判員資格の2級以上または公認拳術審判員資格の2級以上

注：公認太極拳審判員資格保有者は国体太極拳審判員の、公認拳術審判員資格保有者は国体長拳審判員の研修会・認定試験を受けることができる。

②ブロック国体審判員研修会を2015年度（第1期・第2期）を含め、1回以上受講した人で、都道府県連盟会長の推薦を受けた人

講師 種目ごとの講師は追って日本連盟が指名する。

時間割 <長拳>

<太極拳>

9：00 受講者受付

9：00 受講者受付

9：45 開講式

9：45 開講式

10：00 審判研修開始（初級長拳）

10：00 審判研修開始（ジュニア太極拳2・26式太極拳）

12：00 休憩・昼食

12：00 休憩・昼食

13：30 審判研修（国際第一套路）

13：30 審判研修（26式太極拳・国体公開競技用推手套路）

16：30 閉講式

16：30 閉講式

※当日の状況によりスケジュールが変更となる場合があります。

受講料 一律 1人3,000円 ※当日不参加でも返金致しかねますので予めご了承下さい。

用意する物 筆記用具（蛍光マーカー、赤のボールペン等）

※テキストは「国体公開競技ルール 第5版」を会場にて配布します。また、国体審判員が使用する国体用ルールは日本連盟刊行の「2005年国際武術套路競技規則」（通称：青本）をベースにしていますので、参考にしたい方はご購入下さい（＝820円）。

申込方法 所定の申込書と送金内訳表に必要事項を記入の上、各団体で取りまとめて下記のブロック国体準備委員会または担当県連盟までFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。
また、参加費用をまとめて、下記口座にお振り込み下さい。

| | |
|--------|------------------|
| 申込み締切り | 2016年〇月〇日（〇曜日）必着 |
| 申込先 | 実施ブロックで設定 |
| 受講料振込先 | 実施ブロックで設定 |

「国体コーチ，国体審判員の職責と登録手続き」：

1. 職責：

1) 公認国体コーチ：

公認国体コーチは，各都道府県連盟と所属団体が実施する各種の国体種目講習会等で講師を担当し，各都道府県におけるジュニア選手，国体選手を育成する。

種目別に次の3種類の公認コーチを設ける。

- ① 公認国体 長拳ジュニアコーチ＝「初級長拳」の指導法を習得したコーチ
- ② 公認国体 長拳コーチ＝「国際第一套路長拳（長拳B套路）」の指導法を習得したコーチ
- ③ 公認国体 太極拳コーチ＝「ジュニア太極拳2」，「26式太極拳」および「国体推手套路」を習得したコーチ

2) 公認国体審判員：

公認国体審判員は，各都道府県連盟と所属団体が実施する各種の競技大会で，国体種目競技の審判員を担当する。また，各都道府県におけるジュニア選手，国体選手を育成する。

種目別に次の2種類の公認審判員を設ける。

- ① 公認国体 長拳審判員＝「初級長拳」および「国際第一套路長拳（長拳B套路）」の審判法を習得した審判員
- ② 公認国体 太極拳審判員＝「ジュニア太極拳2」，「26式太極拳」および「国体推手套路」の審判法を習得した審判員

2. 国体コーチ資格登録と登録料：

「2016年度第1回・第2回国体コーチ認定試験」を受講・受験して合格した人は，下記の登録料を納付することで，公認国体コーチ資格を得ることができる。

- 日本連盟は，認定試験実施後1ヶ月以内に，①合否判定結果と該当する都道府県連盟宛に送付する。
- 都道府県連盟は，日本連盟が指定する期間以内（2ヶ月程度）に，①合格・資格登録者本人の写真1枚と，②国体コーチ登録料（下記記載）を送付する。
- 日本連盟は，上記の①，②を受領してから2ヶ月以内に，都道府県連盟宛に，①国体コーチ認定書，と②国体コーチ証書（写真付き）を送付する。
- 国体コーチの登録料は，1人5,000円とする。
- 国体コーチ資格の登録有効期間は，4年間とし，
第1回目資格取得者の国体コーチ登録有効期間は，2016年10月から2020年9月までとする。
第2回目資格取得者の国体コーチ登録有効期間は，2017年4月から2021年3月までとする。
- 国体コーチ資格の更新登録：
第1回目資格取得者は，2020年10月からさらに4年間の資格更新登録を行なうことができる（更新登録料＝1人4,000円）
第2回目資格取得者は，2021年4月からさらに4年間の資格更新登録を行なうことができる（更新登録料＝1人4,000円）

※登録手続きの詳細は，後に，都道府県連盟を通じて通知する。

3. 国体審判員資格登録と登録料：

「2016年度第2期国体審判員研修会・認定試験」(第2回目)を受講・受験して合格した人は、下記の登録料を納付することで、公認審判員資格を得ることができる。

- 日本連盟は、認定試験実施後1ヶ月以内に、①合否判定結果を該当する都道府県連盟宛に送付する。
- 都道府県連盟は、日本連盟が指定する期間以内(2ヶ月程度)に、①合格・資格登録者本人の写真1枚と、②審判員登録料(下記記載)を送付する。
- 日本連盟は、上記の①、②を受領してから2ヶ月以内に、都道府県連盟宛に、①審判員認定書、と②審判員証書(写真付き)を送付する。
- 審判員の登録料は、1人 5,000円とする。
- 審判員資格の登録有効期間は、4年間とし、
 - 第1期資格取得者の審判員資格登録有効期間は、2016年4月から2020年3月までとする。
 - 第2期資格取得者の審判員資格登録有効期間は、2017年4月から2021年3月までとする。
- 審判員資格の更新登録：
 - 第1期資格取得者は、2020年4月からさらに4年間の資格更新登録を行なうことができる(更新登録料=1人 4,000円)
 - 第2期資格取得者は、2021年4月からさらに4年間の資格更新登録を行なうことができる(更新登録料=1人 4,000円)

※登録手続きの詳細は、後に、都道府県連盟を通じて通知する。

以上